

# 2020年度 第1四半期 決算説明会

2020年8月4日

**ブラザー工業株式会社**

**財務担当執行役員 伊藤 敏宏**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 2020年度 第1四半期実績

### ✓ コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、減収減益

- ・通信・プリンティング機器は、在宅勤務拡大によりSOHO向け需要増も、SMB向けのPV減少を補えず
- ・P&H事業は、手作り需要が喚起され、普及機を中心に販売増加
- ・ガーメントプリンターは需要拡大も、工業用ミシンの需要は低迷が継続
- ・産業機器は、IT向けはスポット案件効果があるものの、自動車・一般向けの需要は低迷
- ・N&C事業は、店舗休業の影響、業務用カラオケ機器の需要の落ち込みにより、大幅な赤字

## 2020年度 通期業績予想

### ✓ 下期にかけて一定の回復を見込むも、厳しい経営環境が続く

- ・P&S事業は、在宅勤務拡大による需要増も、オフィスでのPV減少、供給遅延影響もあり、減益となる見込み
- ・N&C事業は、下期にかけて緩やかな回復を見込むも、需要はコロナ前の水準には回復せず、大幅な赤字を見込む
- ・今期は著しい業績の悪化が見込まれることから、2020年度の配当金は、年間34円の配当とする。

# 2020年度第1四半期 連結業績概要



新型コロナウイルス感染症拡大による厳しい事業環境を受け、  
Q1は減収減益となる

単位：億円

	19Q1	20Q1	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	1,592	<b>1,332</b>	-260	-16.4% (-13.0%)
事業セグメント利益	176	<b>86</b>	-90	-51.1%
事業セグメント利益率	11.1%	<b>6.5%</b>		
その他の収益・費用	4	<b>6</b>	2	
営業利益	181	<b>93</b>	-88	-48.8%
営業利益率	11.4%	<b>7.0%</b>		
税引前利益	180	<b>95</b>	-86	-47.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	129	<b>66</b>	-63	-48.6%
USD	110.00	<b>107.74</b>		
EUR	123.29	<b>118.94</b>		

# 2020年度第1四半期 事業セグメント別実績



単位：億円

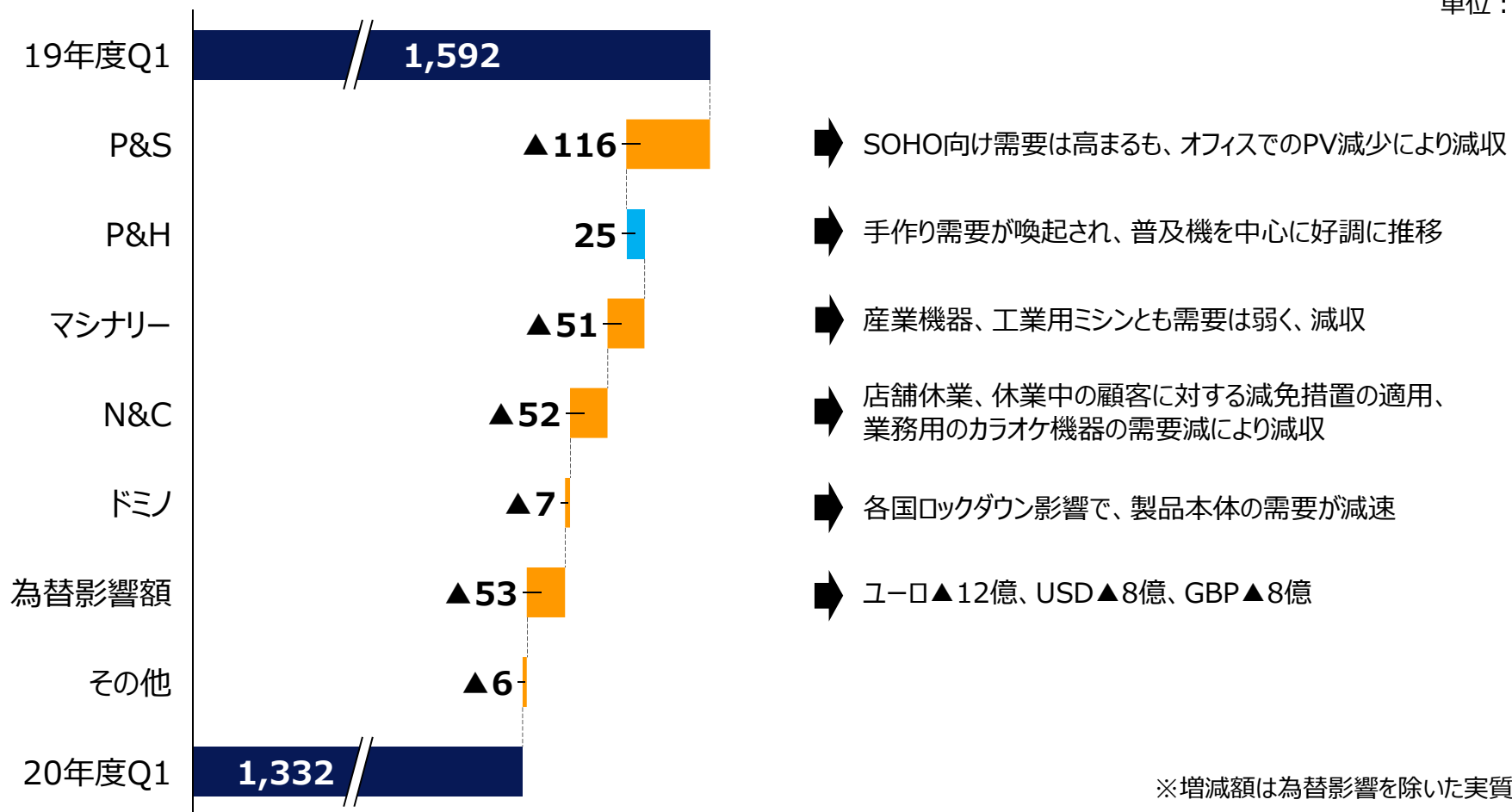
		19Q1	20Q1	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	982	829	-153
	事業セグメント利益	164	94	-71
	営業利益	166	101	-65
パーソナル&ホーム	売上収益	89	109	20
	事業セグメント利益	1	14	12
	営業利益	1	14	13
マシナリー	売上収益	205	150	-55
	事業セグメント利益	5	-1	-7
	営業利益	6	-4	-9
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	113	62	-52
	事業セグメント利益	-6	-23	-17
	営業利益	-5	-23	-17
ドミノ	売上収益	169	154	-15
	事業セグメント利益	11	4	-7
	営業利益	11	2	-9
その他	売上収益	34	28	-6
	事業セグメント利益	2	0	-2
	営業利益	4	2	-2
合計	売上収益	1,592	1,332	-260
	事業セグメント利益	176	86	-90
	営業利益	181	93	-88

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

# 2020年度第1四半期 売上収益の増減要因

コロナ影響により、ほぼ全ての事業において需要が減少し、減収となる

単位：億円

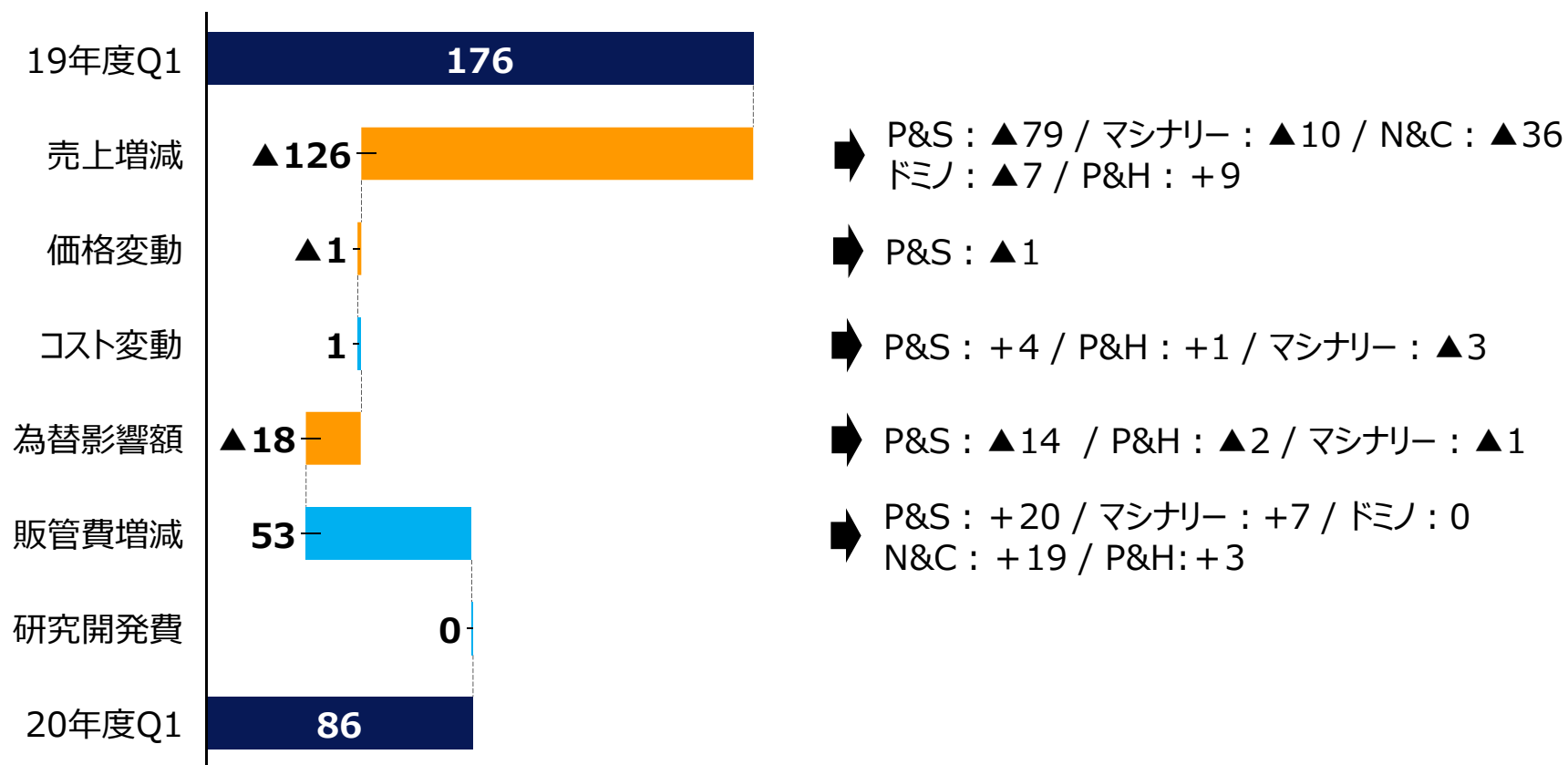


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

# 2020年度第1四半期 事業セグメント利益の増減要因

コロナ影響による営業活動の制限などにより、販管費の抑制効果はあるものの、減収による影響を補いきれず、大幅な減益となる

単位：億円



# 2020年度通期 連結業績予想概要



厳しい事業環境を受け、通期業績は減収・減益となる見込み

単位：億円

	19年度 実績	20年度 予想	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	6,373	<b>5,600</b>	-773	-12.1% (-9.7%)
事業セグメント利益	669	<b>310</b>	-359	-53.7%
事業セグメント利益率	10.5%	<b>5.5%</b>		
その他の収益・費用	4	<b>0</b>	-4	
営業利益	673	<b>310</b>	-363	-54.0%
営業利益率	10.6%	<b>5.5%</b>		
税引前利益	670	<b>310</b>	-360	-53.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	496	<b>250</b>	-246	-49.6%
USD	109.10	<b>106.67</b>		
EUR	121.14	<b>119.76</b>		

# 2020年度通期 事業セグメント別予想



単位：億円

		19年度実績	20年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	3,907	3,349	-558
	事業セグメント利益	571	300	-271
	営業利益	571	312	-259
パーソナル&ホーム	売上収益	409	406	-3
	事業セグメント利益	31	25	-6
	営業利益	32	25	-7
マシナリー	売上収益	748	715	-33
	事業セグメント利益	7	1	-6
	営業利益	6	0	-6
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	491	335	-156
	事業セグメント利益	21	-47	-68
	営業利益	19	-45	-64
ドミノ	売上収益	675	636	-39
	事業セグメント利益	38	24	-14
	営業利益	39	22	-17
その他	売上収益	142	159	17
	事業セグメント利益	4	7	3
	営業利益	9	-4	-13
合計	売上収益	6,373	5,600	-773
	事業セグメント利益	669	310	-359
	営業利益	673	310	-363

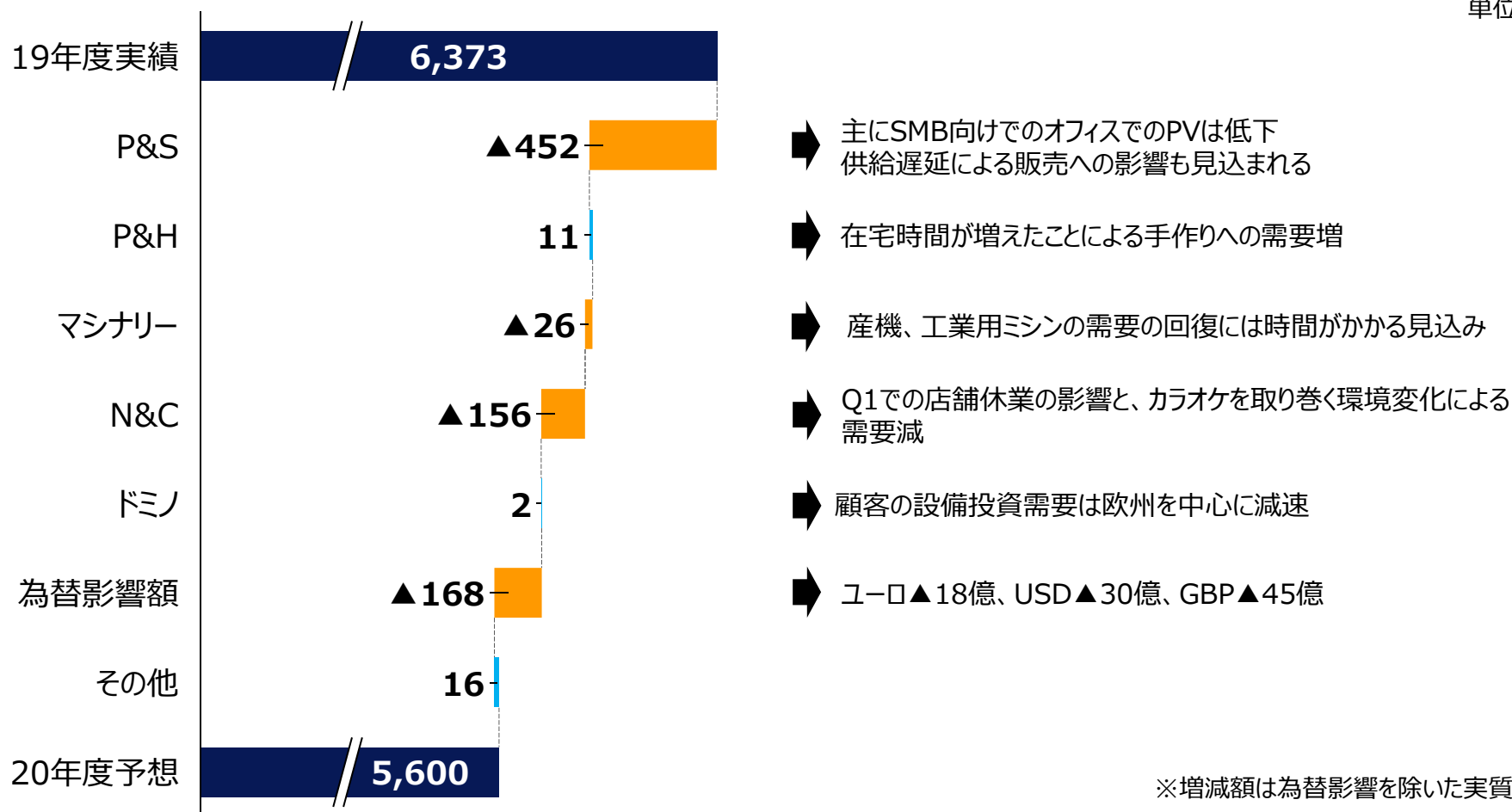
※セグメント間取引消去額は含めておりません。



# 2020年度通期 売上収益の増減要因

P&S事業、N&C事業の減収の影響に加え、為替のマイナス影響もあり、全体として大幅な減収となる見通し

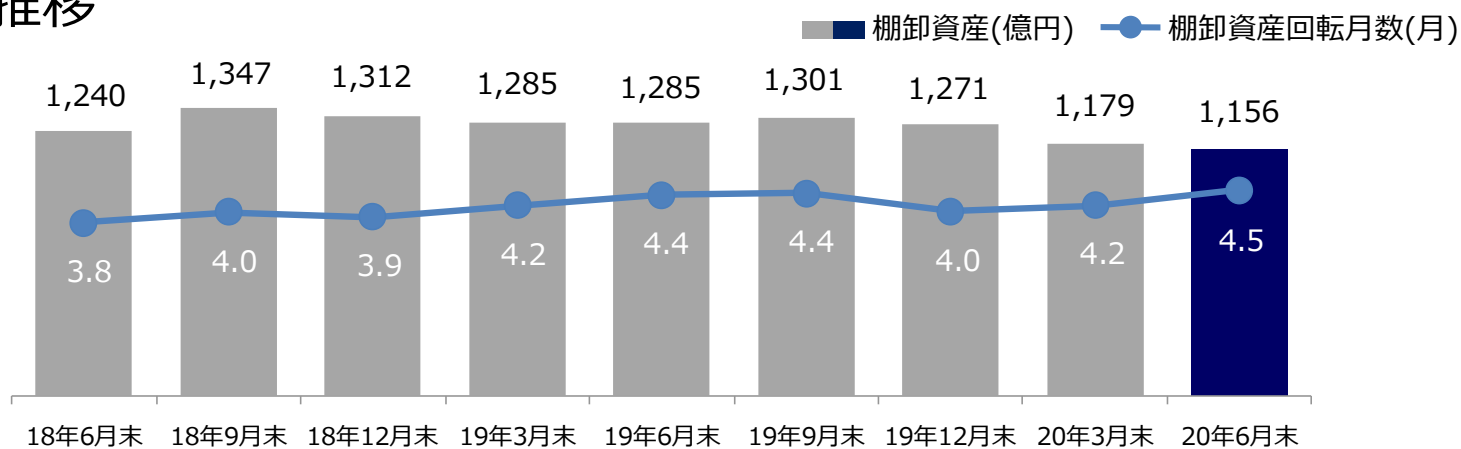
単位：億円



単位：億円

	19年度末	20年度Q1	増減	
流動資産	4,088	<b>4,079</b>	-9	<b>ネット・キャッシュ</b> 19年度末 : +614億円 20年度Q1末 : +664億円
現預金	1,684	<b>1,830</b>	146	
棚卸資産	1,179	<b>1,156</b>	-23	
非流動資産	3,227	<b>3,229</b>	2	
負債合計	2,863	<b>2,846</b>	-17	<b>株主資本比率</b> 19年度末 : 58.6% 20年度Q1末 : 58.8%
有利子負債	1,070	<b>1,166</b>	96	
株主資本	4,285	<b>4,297</b>	11	
総資産	7,315	<b>7,308</b>	-7	

## 棚卸資産推移

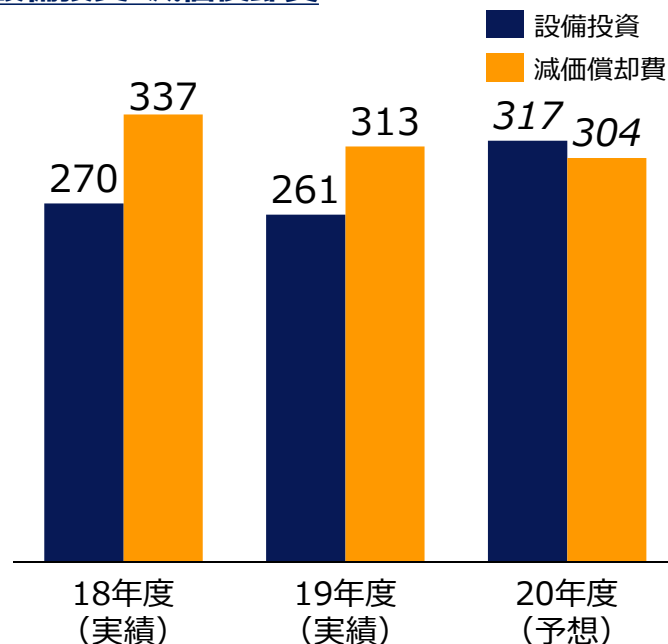


※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

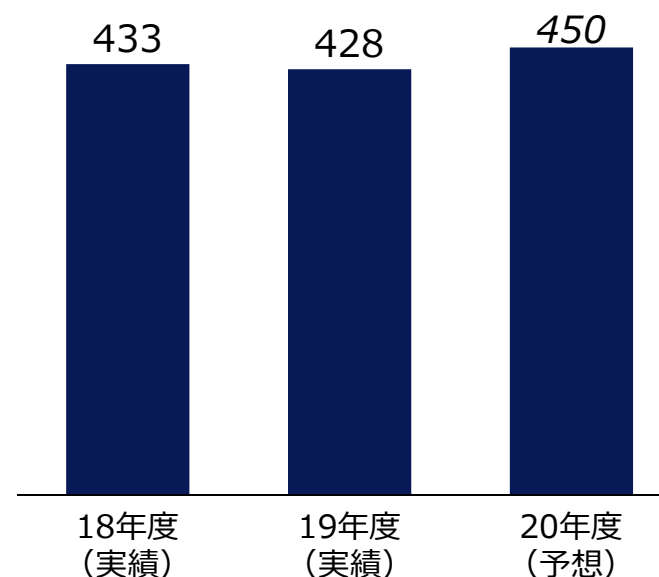
# 設備投資・減価償却費/研究開発費

単位：億円

## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



## 事業別設備投資内訳

	18年度	19年度	20年度
P&S	95	109	155
P&H	9	5	10
マシナリー	40	24	37
N&C	52	49	21
ドミノ	31	21	22
その他	44	52	72
計	270	261	317

## 事業別研究開発費内訳

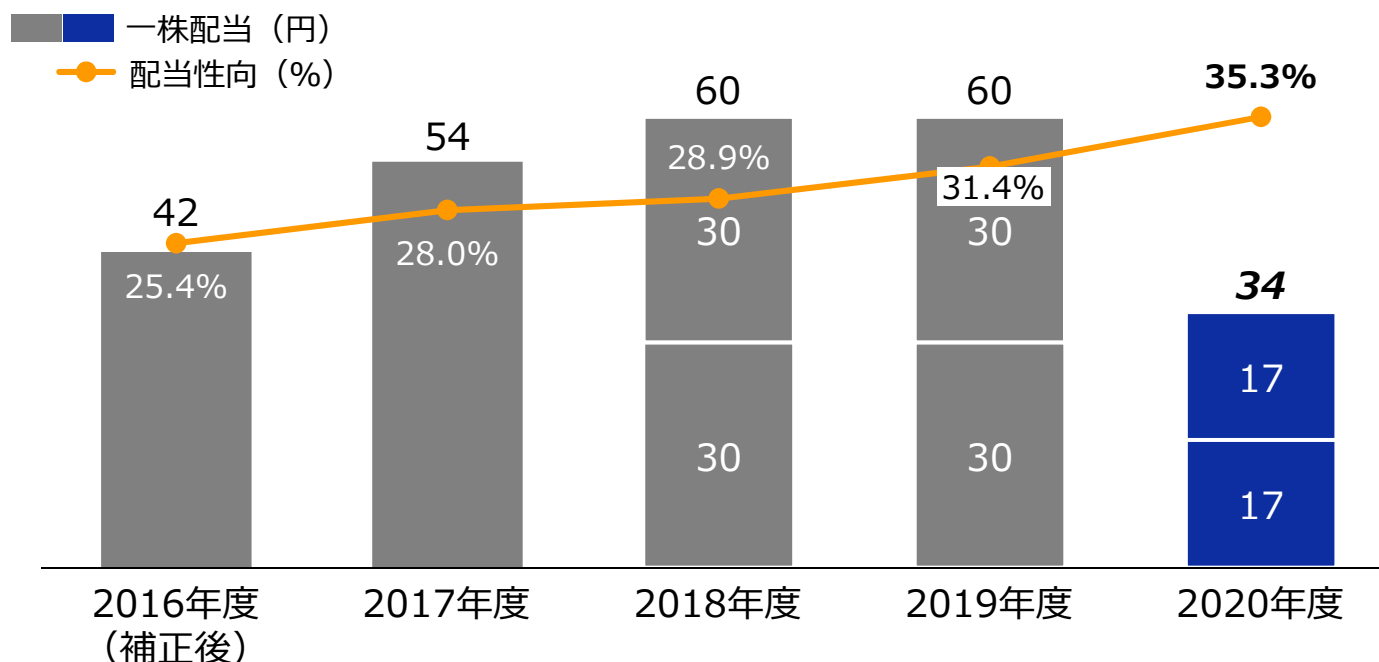
	18年度	19年度	20年度
P&S	290	277	291
P&H	22	22	23
マシナリー	50	54	57
N&C	5	9	10
ドミノ	38	38	40
その他	27	29	29
計	433	428	450

◆中期戦略「CS B2021」方針：

連結配当性向の目標を35%とし、安定的な株主還元を実施  
急激な経営環境の悪化による著しい業績低迷期を除き、1株あたり年間60円を配当の下限水準とする

◆2020年度の年間配当：

新型コロナウイルス感染拡大の影響による厳しい経営環境を受け、  
年間の1株当たりの配当金予想を34円（連結配当性向35%）とする



## セグメント業績概要

# プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

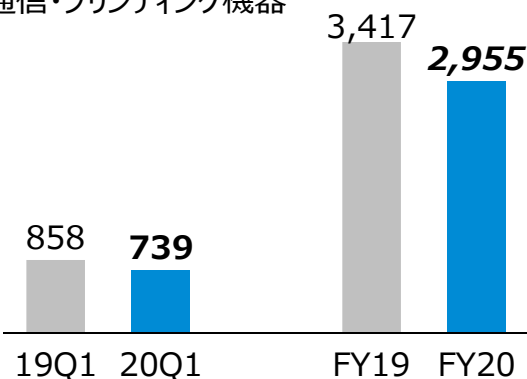


単位：億円

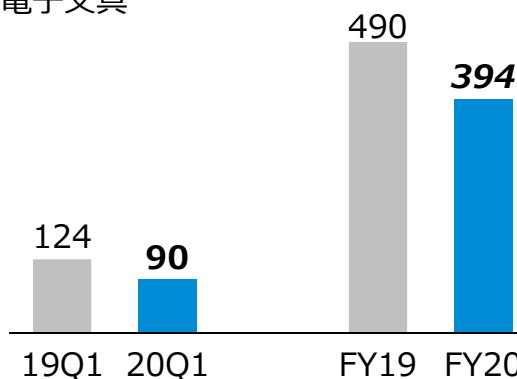
	19Q1	20Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>982</b>	<b>829</b>	<b>-15.6%</b>	<b>-11.8%</b>	<b>3,907</b>	<b>3,349</b>	<b>-14.3%</b>	<b>-11.6%</b>
<b>通信・プリンティング機器</b>	<b>858</b>	<b>739</b>	<b>-13.9%</b>	<b>-10.0%</b>	<b>3,417</b>	<b>2,955</b>	<b>-13.5%</b>	<b>-10.8%</b>
米州	320	277	-13.4%	-9.1%	1,256	1,079	-14.1%	-10.1%
欧州	268	231	-13.6%	-9.9%	1,133	971	-14.3%	-12.7%
アジア他	165	141	-14.6%	-8.7%	591	519	-12.3%	-7.9%
日本	105	89	-14.9%	-14.9%	437	387	-11.5%	-11.5%
<b>電子文具</b>	<b>124</b>	<b>90</b>	<b>-27.2%</b>	<b>-24.5%</b>	<b>490</b>	<b>394</b>	<b>-19.6%</b>	<b>-17.3%</b>
米州	58	40	-32.0%	-29.4%	226	169	-25.3%	-22.3%
欧州	34	22	-35.3%	-33.1%	144	118	-18.1%	-17.1%
アジア他	20	16	-17.7%	-12.1%	72	63	-12.3%	-8.4%
日本	12	13	2.9%	2.9%	47	44	-7.6%	-7.6%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>164</b>	<b>94</b>	<b>-43.1%</b>	-	<b>571</b>	<b>300</b>	<b>-47.5%</b>	-
<b>営業利益</b>	<b>166</b>	<b>101</b>	<b>-39.3%</b>	-	<b>571</b>	<b>312</b>	<b>-45.3%</b>	-

<売上収益>

通信・プリンティング機器

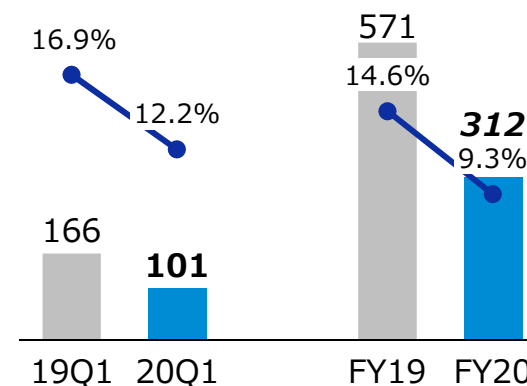


電子文具



<営業利益>

● 利益率



# プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比



	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	18通期	19通期	20通期
<b>LBP</b>															
<b>売上伸び率（円ベース/前年比）</b>															
本体	1%	-3%	-5%	-17%	-9%	-8%	-7%	-2%	6%	-	-	-	-6%	-7%	-3%
消耗品	1%	1%	-1%	-4%	2%	-6%	-2%	-3%	-18%	-	-	-	-1%	-2%	-14%
<b>売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）</b>															
本体	2%	0%	-1%	-12%	-6%	-4%	-3%	2%	11%	-	-	-	-2%	-3%	1%
消耗品	1%	3%	2%	-1%	4%	-1%	3%	0%	-15%	-	-	-	1%	1%	-12%
<b>IJP</b>															
<b>売上伸び率（円ベース/前年比）</b>															
本体	-6%	-6%	2%	-6%	-2%	8%	-7%	-3%	-37%	-	-	-	-4%	-1%	-28%
消耗品	1%	-1%	-3%	-5%	1%	-2%	-8%	4%	-23%	-	-	-	-2%	-2%	-20%
<b>売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）</b>															
本体	-3%	-2%	6%	-1%	1%	13%	-4%	0%	-33%	-	-	-	-1%	2%	-25%
消耗品	1%	1%	0%	-2%	3%	3%	-5%	7%	-20%	-	-	-	0%	2%	-18%
<b>消耗品比率</b>															
	58%	58%	57%	61%	60%	58%	57%	59%	55%	-	-	-	58%	58%	56%
<b>販売台数伸び率（実績のみ/前年比）</b>															
LBP	-1%	-8%	-7%	-16%	-13%	-4%	-2%	3%	12%	-	-	-	-8%	-5%	-
IJP	-1%	-2%	-1%	-4%	0%	13%	1%	7%	-39%	-	-	-	-2%	5%	-

## 需要動向：年度末にかけて需要は緩やかに回復見込み

Q1

- ・在宅勤務、在宅学習の機会増加により、家庭/SOHO向けの小型機に対する需要が増加（IJP、LBPのローエンド製品中心）
- ・各国でのロックダウンによるオフィスの閉鎖等による影響で、SMB向けを中心にQ1の需要は、製品本体・消耗品ともに低迷

Q2以降の  
見通し

- ・ロックダウン解除による経済活動の再開で、需要は緩やかに回復見込みも、コロナ前の状況までは回復せず
- ・在宅勤務、在宅学習向けの需要拡大は一巡する見通し
- ・在宅勤務の機会の増加により、オフィスで稼働するプリンタのPVは低下する見込み

## 業績見通し：オフィスでのPV減少、供給遅延による影響もあり、減収減益を見込む

Q1

- ・SOHO向けでは在宅勤務の機会拡大による需要は高まるも、SMB向けのPVの減少に加え、供給遅延の影響もあり、減収、減益となった

Q2以降の  
見通し

- ・生産は7月末時点で、おおむねコロナ前の水準まで回復
- ・需要は段階的な回復を見込むも、オフィス向けのプリンタのPVの減少や、供給遅延による機会損失により、Q2以降の売上/利益に影響が出る見込み
- ・SMB向けでは、在宅勤務の機会増加によるオフィスでのPV減少の影響を受け、年間を通じて本体・消耗品とも厳しい状況となる見込み
- ・新興国（中国を除く）については、脆弱なインフラ、EC（イーコマース）基盤の不足、感染の拡大基調も想定され、年間を通じて厳しい状況を見込む



# プリンティング&ソリューションズ事業

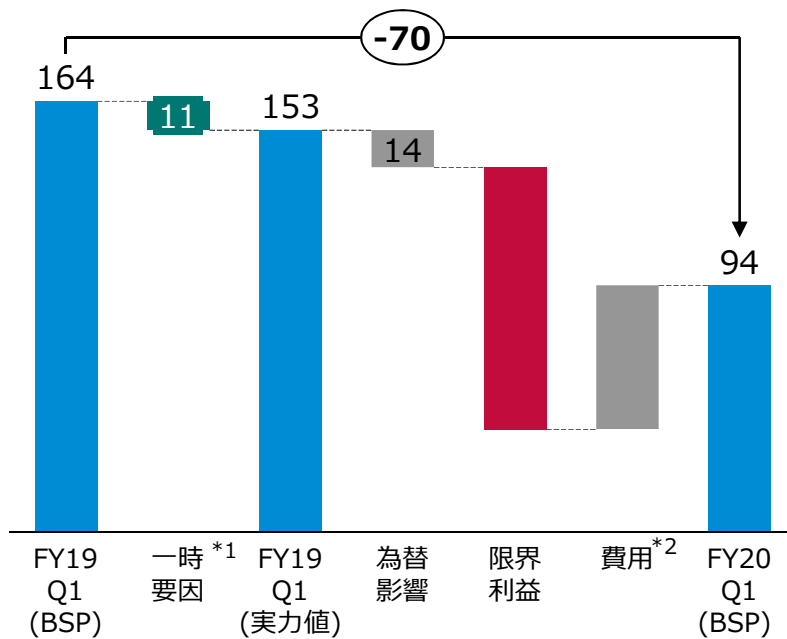
## Q1実績・Q2以降の見通し



単位：億円

### Q1実績

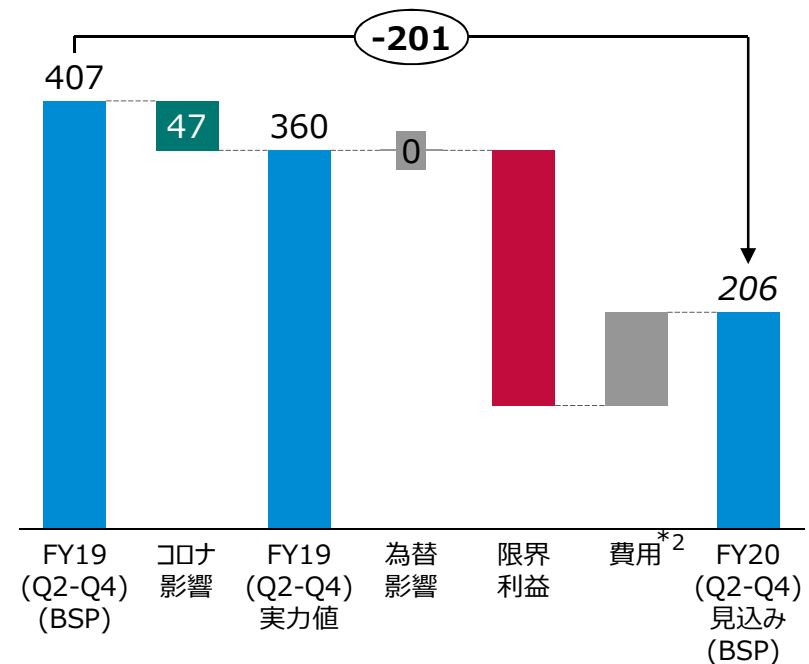
- ・SOHO向けの在宅勤務による需要は高まるも、SMB向けのPV減少、供給遅延の影響もあり、減収、減益となった。
- ・Q1では営業活動の制限により費用は減少も、売上減収を受け、主に消耗品の限利の大幅減を吸収できず。



\*1:消耗品FY18/Q4→FY19/Q1へ期ズレ \*2:売上控除、固定費（販社、工場）

### Q2以降の見通し（7月-3月）

- ・需要は段階的な回復を見込むも、主にSMB向けのプリンタのPVの減少や、供給遅延による機会損失により、減収、減益を見込む。
- ・販促費用はQ2以降も大幅に削減予定ではあるものの、営業活動の再開、工場稼働率の回復による固定費増、および供給遅延対応のための消耗品の航空輸送費などが加わり、費用の水準は高くなる見込み。



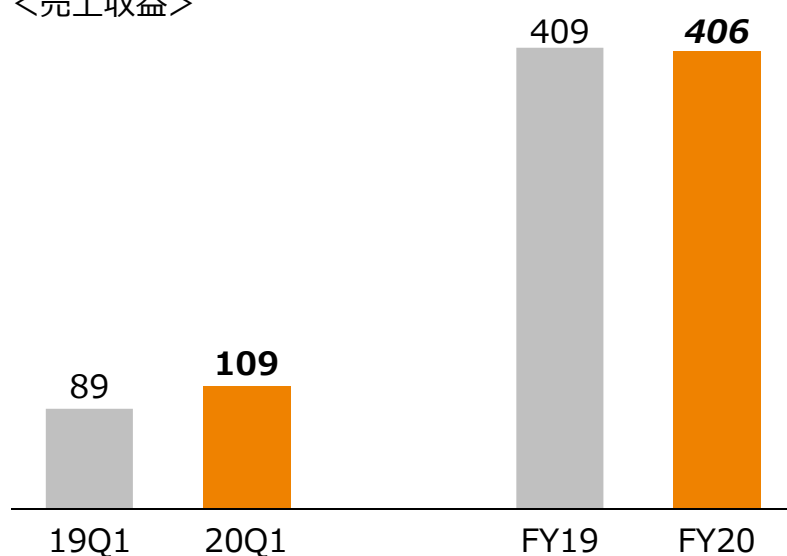
# パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



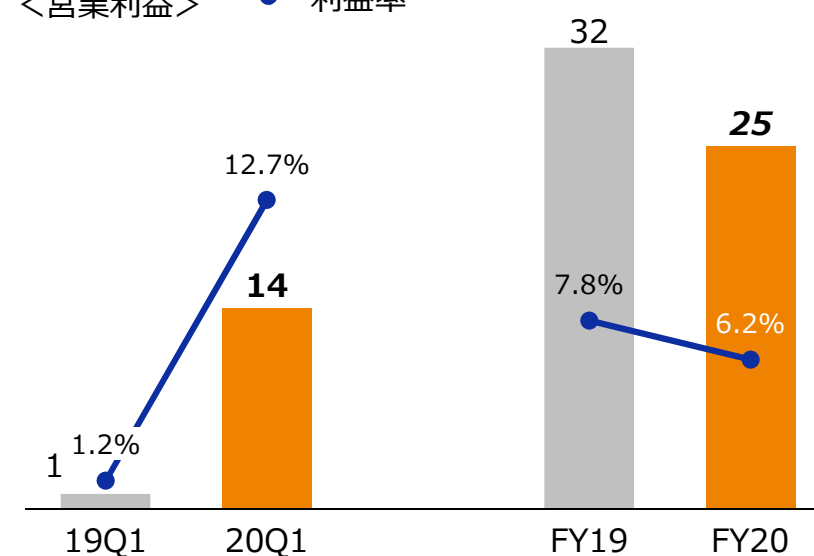
単位：億円

	19Q1	20Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>89</b>	<b>109</b>	<b>22.3%</b>	<b>28.3%</b>	<b>409</b>	<b>406</b>	<b>-0.6%</b>	<b>2.7%</b>
米州	46	52	12.3%	19.7%	223	217	-2.6%	2.1%
欧州	24	34	41.4%	46.5%	108	110	2.2%	3.4%
アジア他	12	13	9.4%	15.5%	46	46	-1.0%	3.5%
日本	7	10	44.1%	44.1%	32	33	3.7%	3.7%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>1</b>	<b>14</b>	<b>847.7%</b>	<b>-</b>	<b>31</b>	<b>25</b>	<b>-20.1%</b>	<b>-</b>
<b>営業利益</b>	<b>1</b>	<b>14</b>	<b>1220.7%</b>	<b>-</b>	<b>32</b>	<b>25</b>	<b>-21.2%</b>	<b>-</b>

<売上収益>



<営業利益> ● 利益率



# マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



単位：億円

	19Q1	20Q1	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	205	150	-26.7%	-24.9%
工業用マシン	72	45	-37.7%	-35.8%
産業機器	89	69	-22.2%	-20.0%
工業用部品	44	36	-17.9%	-17.0%

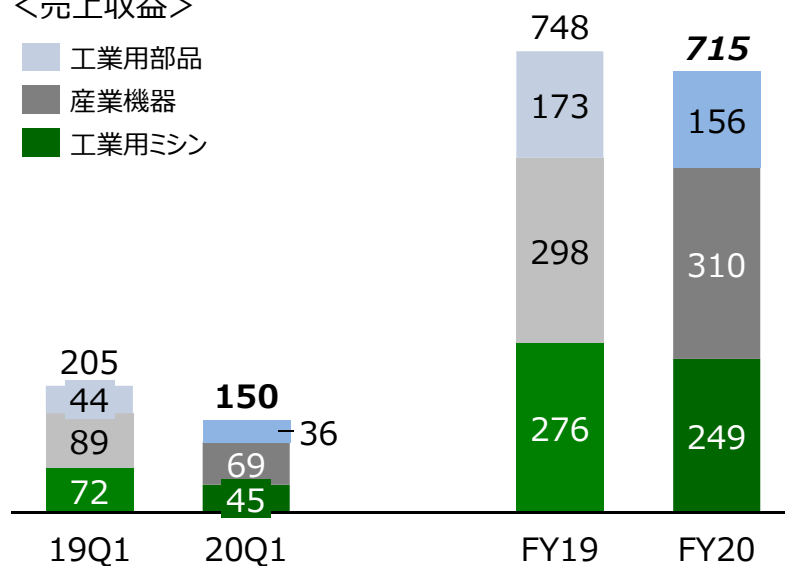
	FY19	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	748	715	-4.4%	-3.5%
工業用マシン	276	249	-9.9%	-8.5%
産業機器	298	310	3.9%	4.7%
工業用部品	173	156	-10.0%	-9.7%

事業セグメント利益	5	-1	-	-
営業利益	6	-4	-	-

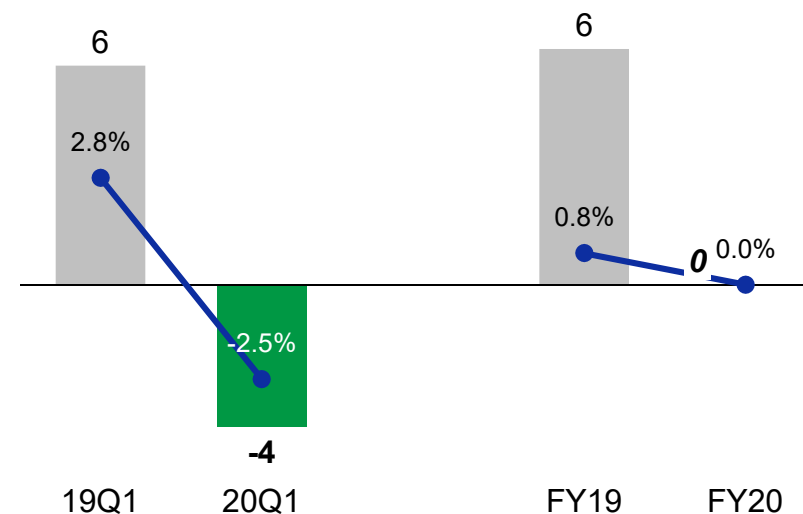
事業セグメント利益	7	1	-85.6%	-
営業利益	6	0	-100.0%	-

<売上収益>

- 工業用部品
- 産業機器
- 工業用マシン



<営業利益> ● 利益率



# マシナリー事業 地域別売上収益

brother  
at your side

単位：億円

	19Q1	20Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>205</b>	<b>150</b>	<b>-26.7%</b>	<b>-24.9%</b>	<b>748</b>	<b>715</b>	<b>-4.4%</b>	<b>-3.5%</b>
<b>工業用マシン</b>	<b>72</b>	<b>45</b>	<b>-37.7%</b>	<b>-35.8%</b>	<b>276</b>	<b>249</b>	<b>-9.9%</b>	<b>-8.5%</b>
米州	15	18	18.5%	21.2%	70	77	9.1%	11.5%
欧州	18	11	-39.6%	-37.5%	68	57	-16.1%	-15.3%
アジア他	37	14	-62.4%	-60.8%	129	106	-17.6%	-16.1%
日本	2	2	11.7%	11.7%	9	9	-3.2%	-3.2%
<b>産業機器</b>	<b>89</b>	<b>69</b>	<b>-22.2%</b>	<b>-20.0%</b>	<b>298</b>	<b>310</b>	<b>3.9%</b>	<b>4.7%</b>
米州	8	6	-25.1%	-	20	12	-40.4%	-
欧州	8	3	-57.4%	-	21	14	-34.4%	-
アジア他	49	49	0.8%	-	168	223	33.0%	-
日本	25	11	-56.2%	-	89	61	-31.4%	-
<b>工業用部品</b>	<b>44</b>	<b>36</b>	<b>-17.9%</b>	<b>-17.0%</b>	<b>173</b>	<b>156</b>	<b>-10.0%</b>	<b>-9.7%</b>
米州	7	5	-26.8%	-25.2%	23	18	-24.1%	-22.4%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	5	4	-23.4%	-18.2%	18	19	3.2%	6.6%
日本	33	28	-15.2%	-15.2%	132	120	-9.4%	-9.4%

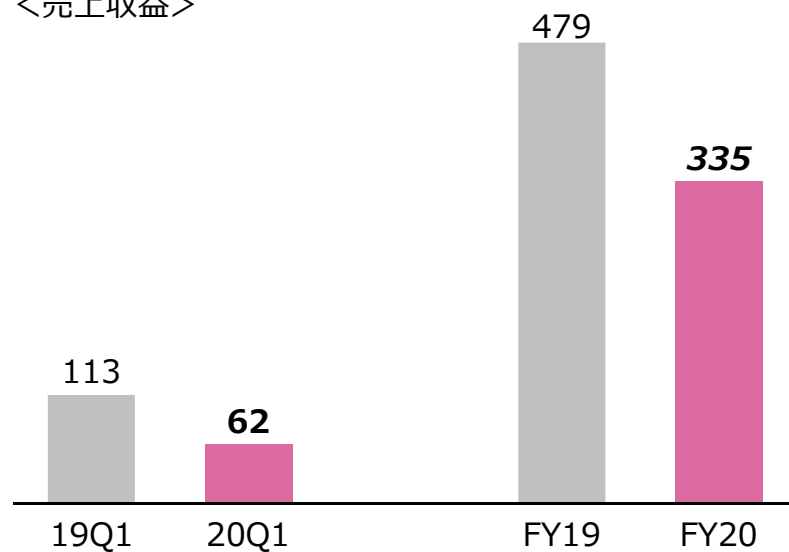
# ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



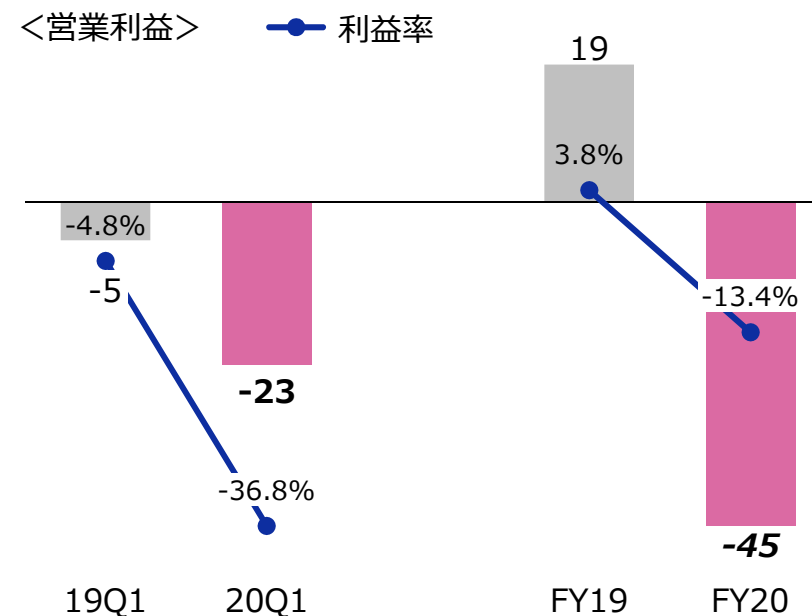
単位：億円

	19Q1	20Q1	増減率	FY19	FY20	対前年 増減率
売上収益	113	62	-45.6%	491	335	-31.8%
事業セグメント利益	-6	-23	-	21	-47	-
営業利益	-5	-23	-	19	-45	-

<売上収益>



<営業利益>



# ネットワーク&コンテンツ事業 Q1実績・通期見通し

単位：億円

## Q1実績

### 業務用カラオケ

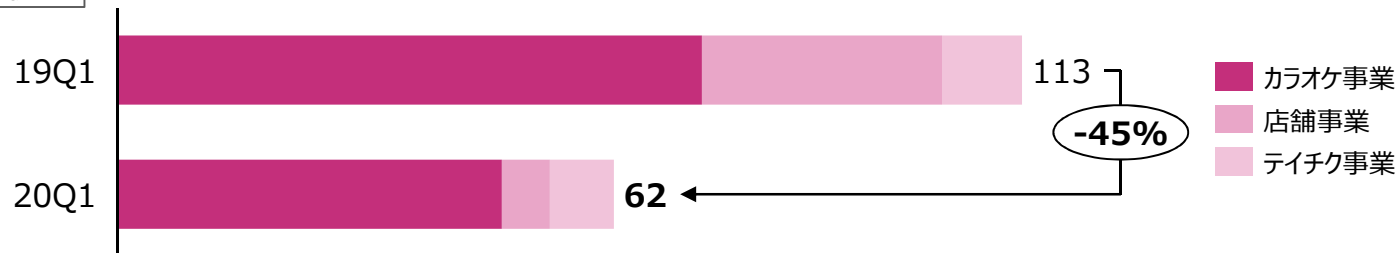
前年同期比  
約4割減収

営業自粛に伴う減免措置による売上減、カラオケ需要低迷による機器販売減などにより、約4割の減収

### 直営店舗

前年同期比  
約8割減収

緊急事態宣言による休業要請に応じ、4月、5月の直営店舗をほぼ完全休業したことにより約8割の大幅減収。5月末より、段階的に店舗営業を再開しているが、客足のもどりは弱い。



## 通期見通し

### 業務用カラオケ

前年比3割  
減収見込み

稼働台数、固定売上（情報提供料・レンタル料）ともに営業自粛にともなう減免措置が解除される7月以降は、期末までに、対前期比9割程度までの回復を想定

収益悪化に伴い、大規模なコストダウンを実行する

### 直営店舗

前年比約4割  
減収見込み

6月度の店舗売上は、前年同月比で約5割の水準まで回復

Q2以降、市場は緩やかに回復し、段階的に、対前期比8割程度までの回復を想定

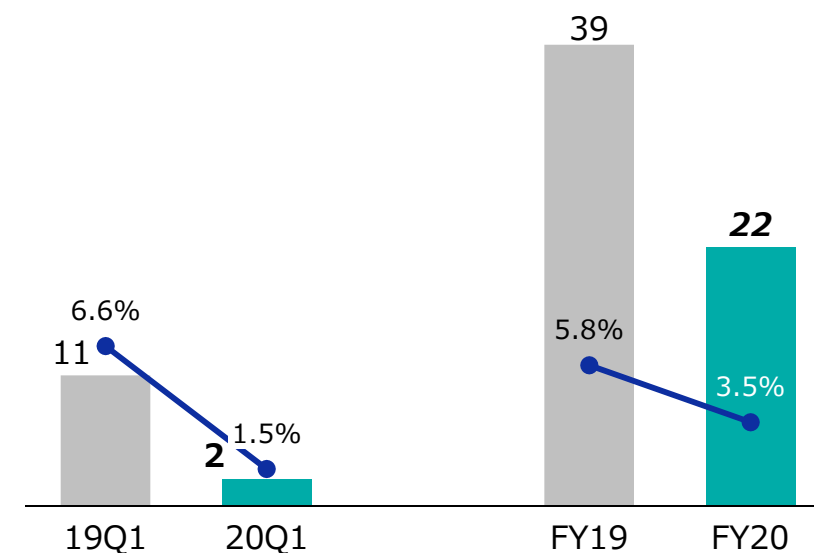
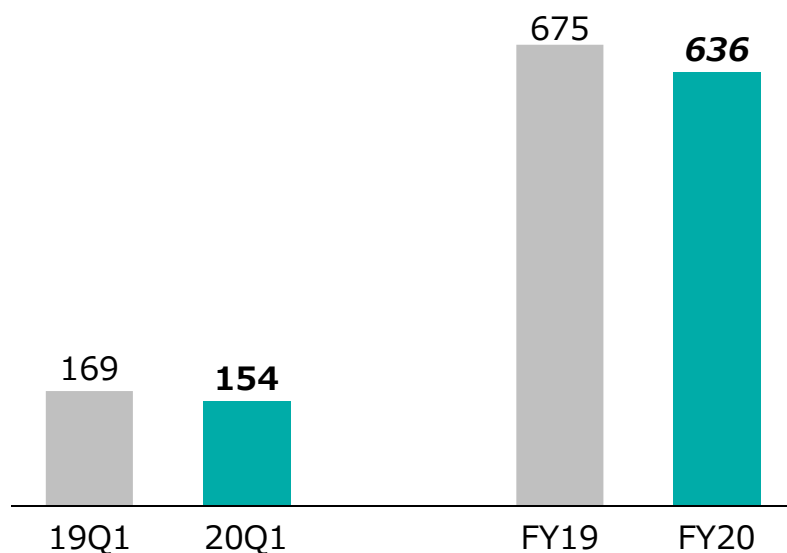
店舗営業継続の基準を設け、不採算店舗については基準に照らして閉店を実施

単位：億円

	19Q1	20Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY19	FY20	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>169</b>	<b>154</b>	<b>-8.8%</b>	<b>-4.2%</b>	<b>675</b>	<b>636</b>	<b>-5.8%</b>	<b>0.3%</b>
米州	39	42	7.8%	14.6%	165	159	-3.6%	4.9%
欧州	84	68	-19.0%	-16.1%	329	299	-9.2%	-4.7%
アジア他	46	44	-4.0%	1.6%	182	179	-1.8%	4.6%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>-67.5%</b>	<b>-</b>	<b>38</b>	<b>24</b>	<b>-36.6%</b>	<b>-</b>
<b>営業利益</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>-78.8%</b>	<b>-</b>	<b>39</b>	<b>22</b>	<b>-43.8%</b>	<b>-</b>

<売上収益>

<営業利益> ● 利益率



ドミノ初となるコルゲート印刷機を発売。段ボール印刷への進出で、  
DP（デジタル印刷）事業の更なる売上拡大を目指す

## Digital Corrugated Press 「X630i」



### ✓ 水性インクのコルゲート(段ボール)印刷機

- ・コーティングされている段ボールにも事前の処理が不要で高生産性を実現
- ・食品包装にも使用可能な水性インクを使用

### ✓ 段ボール印刷分野へ事業拡大

#### パッケージ印刷市場

#### ラベル



「N610i」

#### 段ボール



#### 紙器 パッケージ



#### 軟包装





「FTSE4Good Index Series」および  
「FTSE Blossom Japan Index」に  
初選定

「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」  
に初選定



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan

2020 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

- ✓ 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)に採用されている4つのESG投資\*指標のうち、「FTSE Blossom Japan Index」、「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」の3つに選定された

\*:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)に配慮している企業を重視・選別して行う投資

DISCLAIMER  
THE INCLUSION OF BROTHER INDUSTRIES, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF BROTHER INDUSTRIES, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

**brother**  
at your side